資料３－１

# 奈良県地域職業能力開発促進協議会ワーキンググループにおける訓練効果の把握・検証について

# 奈良県地域職業能力開発促進協議会
# ワーキンググループの開催状況等について

## １．検証・改善を行う訓練分野

**デザイン分野**　委託訓練　　応募倍率は１３８．５%、就職率が５３．６%
求職者支援訓練　応募倍率は１０４．８%、就職率が４９．０%
（従前の就職率７１．４%）

※６年度実績を記載
「従前の就職率」とは、雇用保険適用でない就職者を含む就職率をいう。

## ２．ヒアリング実施状況

（１）ヒアリング実施時期　７～９月
（２）ヒアリング実施者　　奈良労働局、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構奈良支部
（３）ヒアリング先
①職業訓練修了者　２人　　※全て職業訓練コースの内容に関連した業務への就職
②職業訓練修了者採用企業　２社　　※採用企業は全て奈良県
③職業訓練実施機関　２機関

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練修了者）①

## 受講動機等

### Q１. 職業訓練を知った・受講したきっかけは

- 前職は、訪問介護ステーションの事務で、Web業界については知らなかった。
  前職の仕事の中で、チラシを作ることがあり、それが楽しかった。
  ハローワークで求職活動を行う上で、庁内のリーフレット・ポスターで職業訓練の存在を知った。
- 前職は保育士だったが、デザインの仕事をしたいと思っていたところ、ハローワークでちょうど訓練校の話を受けた。
  最初に受講したかった訓練コースには行けなかったが、その後、ハローワークの担当者に案内して貰い、ハロトレ個別説明会で詳しく説明を聞くことができた。

### 結果・検討課題等

ハローワーク窓口での職員の勧奨や庁内掲示物による周知が訓練受講のきっかけとして有効に機能していることが確認された。

前職とは異なる分野への就職を目指し受講した事例も見られ、職業訓練がキャリアチェンジの有効な手段となっていることが伺われた。

ハローワークにて適切・適格な職業訓練コースへのあっせんの強化と併せて、職業訓練受講を必要とする潜在的な求職者が存在するため、ハローワークを利用していない層にも更に幅広く制度周知を行う必要がある。①②

## 就職

### Q２. 現在の企業に就職したきっかけ・経路は

- ハローワーク　１名
- インターネット求人サイト　１名

### 結果・検討課題等

ハローワークの紹介とインターネット求人サイトでの就職である。

デザイン分野は、県内で極めて有効求人倍率が低い職種（求人が少なく、求職が多い。）であるため、大阪方面など県外就職が多くなっている。
本人とハローワークが根気よく県内求人を探し、マッチングして就職につながった。特にデザイン分野は、県内就職の厳しさがあるものの、時間をかければ不可能でないことも明らかとなった。

引き続きハローワークにおける就職支援の強化と就職までに時間がかかるのであれば、早期の就職活動に取り組む必要がある。③④

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練修了者）②

## 訓練受講内容等

### Q３. 職業訓練を受講して良かった点は

- 職業訓練校のキャリアコンサルティングが役に立った。自身の経歴を客観的に見て貰い、様々なことを提案して貰えた。
  講師陣の知識量や技術、人柄、学ぶ事が多く、自分で考える力がついた。
- 職業訓練校は、受講生の将来的なことを考えてアドバイスしてくれ、寄り添って貰えたと感じた。
- 現在の仕事は、訓練内容の一部分が関連しており、学べて良かった。
- デザイン業務で、必要なスキルを最低限身につけることができた。
- 専門知識や技能が習得でき、就職活動への自信が付いた。
  また、自己PRや職業選択の整理ができ、新しい職種へ挑戦する意欲が持てた。

### 結果・検討課題等

総じて職業訓練修了生からの評価は非常に高い。

特に興味はあるが、経験の無い仕事にチャレンジするのに基本的なことや専門的なことを学んだことにより再就職への自信につながり、未経験の職種に挑戦する意欲につながっていることが確認された。

今後も職業訓練修了者の声を求職者に伝えることで、定員充足率の更なる向上につながるのではないか。⑤

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練修了者）③

## その他

### Q４. その他職業訓練全般について

- ハローワークでは、様々な求人情報の提供をして貰えたので、大変満足している。
- ハローワーク窓口で、職業訓練を受講してもその後の応募において年齢で厳しいと言われたので、それなら最初から教えて欲しかった。
  職業訓練を受講して、面接を何件か受けたが採用されなかった。
  奈良県内にはWeb系の仕事がほとんど無かったため、大阪の事業所に応募していた。
  最終的に県内の現在の会社にハローワーク紹介で就職できた。
- 訓練生同士の情報交換は大変役立ち、交流は未だに続いている。
- 現在の職場の先輩に、同じ職業訓練の卒業生がいて、いろいろと教わっている。
  今はパート勤務だが、いずれ正社員を目指したいと思っている。
- 現在、仕事を覚えるために勉強中だが、いずれ資格取得も目指したい。
- 現在の就業状況はパートだが、仕事内容や家庭状況を考えると内部登用制度がある職場だが、今は正社員登用について考えていない。
- ハローワークの職業相談では、就職に向けて沢山の相談にのっていただけたので、大変満足している。
- 職業訓練中、イラストレーターでビラやインスタ画像を作成したことや相手の作ってほしいものをヒアリングして作る課題に取り組んだことは、就職後にとても役立っている。

### 結果・検討課題等

同じ目的を持つ者同士で情報共有している様子が見られた。
また、職業訓練終了後も資格や講習などの情報交換を行うなど、職業訓練受講生同士の交流が、職業訓練修了者の今後の励みになっているようである。

現在はパート雇用で就業している者についても、将来的な正社員化や資格取得を目指すなど、継続的なキャリア形成に向けた意欲が見られた。

職業訓練修了者の声を求職者に伝えていくことにより、定員充足率の更なる向上及び再就職促進、職場定着へとつながるのではないか。⑥

職業訓練修了者の経験を現在の職業訓練受講生に伝えることで、早期再就職へ導けるのではないか。⑦

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練修了者）④

**Q５．職業訓練を受講しようかどうか迷っている人へ**

- 機会があれば職業訓練を勧めたい。
- 既に退職を検討している友人に職業訓練を勧めた。

職業訓練に対する満足度は高く、機会があれば他者にも職業訓練を勧めたいとの意向が確認された。

既に退職を検討している知人に対し職業訓練の受講を勧めている事例もあり、職業訓練修了者が制度の有効性を実感し、自発的な周知役となっていることが伺われた。

訓練受講修了者の声を届けていくことが、受講を迷っている求職者の背中を押す効果があると思われる。

現在は、訓練修了者の声を記載したリーフレットを作成し周知を行っており、内容の更新、充実を図りながら引き続き周知を行っていく必要がある。

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（採用企業）①

## 認知

### Q１. 職業訓練についてどの程度ご存じですか

- ２年前の訓練修了生を採用していたので、知っていた。
- 採用担当から聞いており、面接の時点で認識していた。

### 結果・検討課題等

過去に訓練修了者を採用した実績があり、職業訓練のことをよく知っている企業や採用担当者からも職業訓練に関する情報共有が行われていたことから、職業訓練制度に対する認知及び理解が一定程度進んでいるなど、業界として職業訓練の認識は進んでるように見受けられる。

更に職業訓練について、幅広い企業にも認知して貰うことが必要。⑧

## 採用

### Q２.職業訓練修了者であったことは、採用選考に影響がありましたか

- 人物を見て採用しているのであまり意識していないが、職業訓練を受講し卒業された方は、前向きな方で、規則正しい生活をされているので安心できる。
- 企業から見ると、職業訓練を受講していることは、スキルの習得に加え、主体的に学ぶ姿勢や向上心を示す物であり、プラス評価につながる。

### 結果・検討課題等

職業訓練受講が十分採用に影響している状況が確認された。

企業が最終的に採用に至る理由として、職業訓練修了者の人柄を重視しており、その人柄には、就職の前に職業訓練を受け、スキルの習得に加え主体的に学ぶ姿勢や向上心などを評価している。

これら評価している点も含め、採用企業の声を求職者、求人者の双方に更に伝えることで、定員充足率や就職率の向上に結び付くのではないか。⑨

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（採用企業）②

## スキル

### Q３.職業訓練で習得が望ましいスキル・技能などはありますか

- HTMLやCSSなどは、今の職務にある程度役立っている。
- PC関連の知識全般（イラストレーター）。
  また、普段の販促業務の中では、Excel、Word、Outlookを知ってもらえれば良い。
- 訓練にはプログラミングについての知識の方が、企業にとって役立つと考える。

### 結果・検討課題等

職業訓練で習得したHTML・CSS等の知識・技能については、実際の業務において一定程度活用されており、企業からも評価を得ていることが確認されたが、一方で、訓練内容については、プログラミングに関する知識や技能の習得を期待する意見も聞かれ、企業ニーズが多様化している状況が伺われた。

職業訓練実施機関へ採用企業のニーズを伝えていくことが重要。⑩

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（採用企業）③

## その他

### Q４.職業訓練に関するその他の意見・要望等

- 一から教える必要がなく、教える時間が短くてすむので、採用してメリットはあった。
- デザイン系は個人のセンスに左右される部分が大きい。
- 市場が欲しいニーズの内容の訓練にした方が良い。
- デザイン系は厳しい。本人の希望する内容ばかりでなく、企業側が求めるスキルに寄せる必要もあるのではないか。

### 結果・検討課題等

職業訓練修了生は、採用後、技術的に一から指導する必要が無く、育成に要する時間の短縮につながる点が評価されていた。
一方で、デザイン系は、個人の感性や適性に左右される側面が大きく、職業訓練のみでは補うことが難しい要素があるとの意見も聞かれた。
また、訓練内容は、求職者の希望を踏まえつつも、企業が求める知識・技能や市場ニーズをより反映していくことが重要との意見が示された。

これら採用企業の声を求職者、求人者の双方に伝えることで、定員充足率や就職率の向上に結び付くのではないか。⑪

職業訓練実施機関へ採用企業のニーズを伝えていくことが重要。⑩

求職者の受講希望ばかりではく、ハローワークにおける適切・適格な受講指示が求められている。⑫

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練実施機関）①

## 就職支援

### Q１. 就職支援で工夫している点は

- ハローワークの求人票の閲覧に加え、ハローワーク以外の支援機関等が発信する求人情報や各種案内の掲示を行っている。
- 就職支援の充実を図るため、キャリアコンサルティングに重点的に取り組んでいる。
- キャリアコンサルティングでは、キャリアコンサルタントによる支援体制を整備しており複数人体制で行うことで、各担当者の視点や経験を活かしながら受講生の就職に向けた助言を行っている。
- キャリアコンサルタントは、個別相談に加え、一斉授業による就職支援も実施しており、デザイン業界及びWeb業界に関する知見を有していることから、業界で求められるスキルやキャリア形成に関する相談に対応しているほか、他業界への就職を希望する受講生に対しても、訓練で習得した知識や技能の活用方法について助言を行っている。
- 求人について、奈良県内に限定すると対象となる求人数が少ないため、関西圏を含めた広域的な情報収集を行っている。
  しかしながら、当該業界的の求人は首都圏に集中する傾向があり、対象地域を拡大しても十分な求人数の確保が難しい状況にある。
  なお、奈良県内ではECサイト関連業務の求人が比較的多いことから、職業人講話においてECサイト運営企業の担当者を招聘し、訓練で学ぶ内容が実際の業務でどのように活用されているのかについて説明する機会を設けている。

### 結果・検討課題等

キャリア・コンサルティングをはじめとする就職支援に重点的に取り組んでおり、その取組状況は、職業訓練修了者のヒアリング結果とも一致している。

特に、複数のキャリアコンサルタントによる支援体制や業界実態を踏まえた助言は、受講生の就職支援に有効に機能しているものと考えられる。

訓練内容や訓練実施機関の特色について、ハローワーク窓口に十分伝わっていない可能性が示唆されたことから、訓練実施機関とハローワークとの情報共有をより一層促進し、求職者に対する適切・適格な訓練あっせん及び就職支援につなげていく必要がある。⑬

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練実施機関）②

## カリキュラム

### Q２. 訓練カリキュラムで工夫している点は

- 未経験者でも理解しやすく、、経験者にとっても実践的な学びが得られるとともに、就職に結びつくカリキュラムの編成に努めている。
- テキスト教材の充実を図るとともに、関連資格の取得を目指す受講生に対する受験対策に配慮している。
- 技術や業界動向の変化に対応するため、情報の陳腐化を防ぎ、授業内容を適宜見直すなど、常に最新の知識・技術を反映した訓練の実施に努めている。
- 関連業界や事業者のニーズの把握に努め、その内容を訓練カリキュラムに反映するよう取り組んでいる。
- 講師の選定に当たっては実務経験や専門性を重視するとともに、職業人講話についても、受講生の職業理解や就職意欲の向上に資する内容となるよう講師及びテーマの選定に配慮している。

### 結果・検討課題等

訓練実施機関ごとに、業界ニーズや技術動向を踏まえた特色あるカリキュラムが構築されていることから、ハローワーク職員がその特徴や強みを十分理解し、求職者の適性や希望に応じた訓練相談に活かすことが重要。

職業訓練実施機関の特色をハローワーク職員が知る機会を確保し、求職者との訓練相談に活かすことにより、適切・適格な受講あっせん、受講者の確保に結びつける必要がある。⑭

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果（職業訓練実施機関）③

## 連携・要望

### Q3. ハローワーク等との連携や要望する点は

- 就職支援を効果的に進めるためには、ハローワークと訓練実施機関との情報共有及び連携が重要であると考えている。
  一方で、訓練校の内容や訓練の特色について、ハローワーク窓口に十分伝わっているかどうかについては課題意識を持っている。
- 求職者の中には、Webサイト作成とプログラミングを同一視している者が少なくないことから、ハローワークに対しても訓練内容を説明し、実際の訓練内容との乖離が生じないよう適切な案内を依頼している。
- デザイン分野については、IllustratorやPhotoshopを操作することのみがデザイン業務でないことを受講前に十分理解してもらうことが難しく、訓練内容や業界理解を深めてもらうための説明に努めている。
- AI技術の普及に伴い、Webサイト制作の手法や求められるスキルは大きく変化していくものと認識している。
  現在は過渡期にあると考えており、業界動向を踏まえながら、時代の変化に対応したカリキュラムの構築について継続的に検討している。

### 結果・検討課題等

求職者の中には、Webサイト制作やデザイン分野の業務内容について十分理解しないまま訓練受講を希望する者も見受けられることから、訓練内容や訓練修了後の職業イメージについて、受講前に適切・適格な情報提供を行うことが重要。⑮

訓練コースの内容、訓練実施機関の特色及び就職支援の取組等について、ハローワークと訓練実施機関との情報共有を充実させ、訓練相談や受講あっせんに活用していく必要がある。⑯

また、AI技術の進展など業界環境が大きく変化していることから、今後も業界動向を注視しながら訓練内容の充実を図っていくことが期待される。

# ヒアリング結果を踏まえた今後の対応について ①

ヒアリング結果を踏まえて、今後、以下のような取り組みを行う予定。

①ハローワークにおける適切・適格な職業訓練コースへのあっせんの強化を図る必要がある。

⑫求職者の職業訓練受講希望だけでなく、ハローワークにおける適切・適格な受講指示が求められている。

⑬今後も職業訓練実施機関が行っている支援内容をハローワーク職員が理解する機会を確保し、連携した就職支援に結びつけることが重要である。

⑭今後も職業訓練実施機関が行っている職業訓練内容や特徴をハローワーク職員が知る機会を確保し、求職者との相談に活かすことにより、適切・適格な受講あっせん、職業訓練受講者の確保に結びつけることが重要である。

⑮求職者に訓練内容や訓練終了後の職業イメージについて、受講前に適切・適格な情報提供を行うことが重要。

→ 職業訓練内容、職業訓練実施機関の支援内容等をハローワーク職員が理解する機会を確保するため、見学会、意見交換会等を引き続き実施。

②職業訓練受講を必要とする潜在的な求職者が存在するため、ハローワークを利用していない層にも幅広く制度周知を行う必要がある。

⑤職業訓練修了者の声を求職者に伝えていくことにより、定員充足率の更なる向上につながるのではないか。

⑥職業訓練修了者の声を求職者に伝えていくことにより、定員充足率の更なる向上及び再就職促進、職場定着につながるのではないか。

⑨評価している点も含め採用企業の声を求職者、求人者の双方に伝えることで、定員充足率や就職率の向上に結び付くのではないか。

⑪採用企業の声を求職者、求人者の双方に伝えることで、定員充足率や就職率の向上に結び付くのではないか。

→ ハローワーク利用者と併せて、ハローワークを利用していない層を対象とした周知・広報を引き続き実施。
また、広報には、職業訓練修了者の声を入れる。

# ヒアリング結果を踏まえた今後の対応について ②

ヒアリング結果を踏まえて、今後、以下のような取り組みを行う予定。

| | |
|---|---|
| ③引き続きハローワークにおける就職支援の強化を図ることが必要。<br>⑯ハローワークと訓練実施機関との情報共有を充実させ、訓練相談や受講あっせんに活用していく必要がある。 | 引き続き職業訓練実施機関との連携の強化。 |
| ④訓練受講者の早期からの就職活動が必要。<br>⑦職業訓練修了者の再就職への経験を職業訓練受講生に伝えることにより、早期再就職へ導けるのではないか。<br>⑧職業訓練について、幅広い企業に認知してもらうことが必要。<br>⑨評価している点も含め採用企業の声を求職者、求人者の双方に伝えることで、定員充足率や就職率の向上に結び付くのではないか。 | 訓練修了生歓迎求人の確保、就職支援・求人充足支援につなげるため、企業への周知を引き続き実施。 |
| ⑩職業訓練実施機関へ採用企業のニーズを伝えていくことが重要。 | 引き続き奈良県、機構奈良支部等による職業訓練実施機関への助言・情報提供の実施。 |
| ⑪採用企業の声を求職者、求人者の双方に伝えることで、定員充足率や就職率の向上に結び付くのではないか。 | 採用企業が評価していることについて、ハローワークを利用していない層も含めた求職者への周知を引き続き実施。 |
| ⑦職業訓練修了者の再就職への経験を職業訓練受講生に伝えることにより、早期再就職へ導けるのではないか。 | 職業訓練終了後再就職した職業訓練修了者の体験談等を現在の職業訓練受講生に伝える方法を検討。 |

例：職業訓練修了後、再就職された方々に、再就職に至った経緯や当時、再就職で苦労された点等、Microsoft Formsを活用してアンケート形式で収集・取りまとめて、職業訓練実施施設を経由して職業訓練受講生に配付する。

現在再就職し、仕事を覚えるために忙しくしているであろう職業訓練修了者が、どこまで協力してくれるか疑問。
協力して貰いやすい簡易な方法で、体験談等を収集できるよう検討する。

# 【参考】令和7年度デザイン分野訓練実施状況（近畿地区）

| | 公共職業訓練（委託訓練） | | | | | | 求職者支援訓練 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | コース数 | 定員 | 受講者数 | 応募倍率 | 定員充足率 | 就職率 | コース数 | 定員 | 受講者数 | 応募倍率 | 定員充足率 | 就職率 |
| 奈良 | 3 | 63 | 60 | 120.6% | 95.2% | 70.6% | 7 | 101 | 89 | 128.7% | 88.1% | 57.5% |
| 滋賀 | 10 | 135 | 90 | 89.6% | 66.7% | 50.0% | 3 | 42 | 38 | 135.7% | 90.5% | 71.4% |
| 京都 | 6 | 120 | 62 | 55.8% | 51.7% | 75.4% | 11 | 165 | 114 | 81.8% | 69.1% | 52.1% |
| 大阪 | 67 | 1320 | 902 | 90.6% | 68.3% | 79.1% | 47 | 927 | 788 | 125.0% | 85.0% | 65.4% |
| 兵庫 | 39 | 566 | 372 | 82.0% | 65.7% | 86.5% | 12 | 200 | 155 | 104.5% | 77.5% | 69.5% |
| 和歌山 | 3 | 30 | 26 | 96.7% | 86.7% | 66.7% | 3 | 65 | 51 | 98.5% | 78.5% | 60.0% |